



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題 「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

アジア地域会長主題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

西日本区理事主題 「原点を知り将来に生かす！」

中部部長主題 「明るく 清く 美しく 一よき隣人として (Befriending) ー」

金沢クラブ会長主題 「一人はみんなのために、みんなは一人のために」 “One for All, All for One”

2022 8 月間強調

LTOD IBC-DBC

今月の聖句(伊藤 仁信君)

互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。

コロサイの信徒への手紙 3 章 13 節

8月強調月間

リーダーシップを学んでください！クラブ・部・区等あらゆる機会に学びの場があります。全てを有意義に捉え、スキルアップをして、リーダーシップを身に付けてください。

鶴丹谷剛 ワイズリーダーシップ開発委員長 (神戸)
締結しているクラブ同士で交流を深め、協働事業を検討しましょう。締結していないクラブは、他クラブを訪問し、交流を深めましょう。 小田哲也 国際・交流事業主任 (福岡中央)

8月例会 プログラム

と き	2022年8月18日 (Thu.) 18:30~20:30
と ころ	KKR ホテル金沢
会 費	¥3,000 (会員は無料) ¥2,000 円 (メネット)
司 会	伊藤 仁 信 君
開 会 ・ 点 鐘	幸正一誠 会長
主 題	司 会 者
ワ イ ズ ソ ン グ	一 同
今 月 の 聖 句	司 会 者
ゲ ス ト 紹 介	幸正一誠 会長
食 前 の 感 謝	数澤輝夫 君
ス ピ ー チ	西 信 之 君
	“気多大社入江に上陸した辰国 (秦国：新羅の前身) 王子一行による能登の開拓”
ハ ッ ピ ー バ ー ス テ ー	幸正一誠 会長
ニ コ ニ コ タ イ ム	南 唯 乃 君
委 員 会 報 告	各 担 当
Y M C A の 歌	一 同
閉 会 ・ 点 鐘	幸正一誠 会長

7月 クラブ活動状況

第1例会 (7月21日 Thu.)

メ ン：伊藤、数澤、皆森、幸正、西、山内、吉川 (7名)

出席率：88%

メネット：伊藤、数澤 (2名)

ゲ ス ト：北村さん、北村心君、下山さん (3名)

第2例会 (7月1日 Fri.)

メ ン：伊藤、数澤、幸正、山内 (4名)

メネット：伊藤、数澤 (2名)

ニコニコタイム

9,000 円

クラブファン ド 累計 9,000 円

BFポイント

切手 0 g 累計 200 g

現金 0 円 累計 0 円

会 長	幸正 一誠	中部部長	山内ミハル
直前会長	山内ミハル	中部書記	荒川 恭次
副会長	西 信之		(名古屋グランパス)
書 記	南 唯乃	中部会計	伊藤 仁信
メネット会長	数澤 淑子	事務局長	数澤 輝夫

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30

KKR ホテル金沢 金沢市大手町2-32

Tel (076-264-3261)

第二例会：毎月1日 17:30~20:00

金沢ニューグランドホテル 2F (蔵) Tel (076-233-1311)

巻頭言に代えて

7月例会報告

幸正 一誠

7月21日 75期金沢クラブ例会がキックオフ。
今期のキックオフ例会は、コロナ感染者数の減少状況にあり、久しぶりに「納涼例会」も兼ねた開催となった。

メインプログラムは「会長交代式」。山内クラブ会長の襟元から会長バッジが新会長幸正のブレザーの襟元へ山内会長により装着された。山内会長からは「クラブ運営をしっかりとお願いします。」との激励の御言葉を頂き、私からは「素晴らしいクラブ運営を為された山内会長の後を引き継ぐ事は、大変心苦しいが 手腕を学びかかります」と申し上げ、第74代会長から第75代会長への交替を終えた。



山内ワイズは今期中部部長に選任され、田上 正西 日本区理事よりの中部部長任命状を理事に代わって、私から山内中部部長にお渡し致しました。共に、ご参加頂いたゲスト及びクラブメンバーから、割れんばかりの激励の暖かい拍手を頂きました。



今回の納涼例会では、食事は通常例会と違い洋食が中心の料理で、美味しく頂きました。食後、スピーチは各自自由に時間制限無しで始まりました。今回は、ゲスト参加された、北村さん親子にもスピーチを頂き、お二人の新しい面を知る機会を得ました。クラブメンバーからは幼少期の思い出話・終活状況・職場での苦労話・電車を遅らせてしまった事、などなど笑い溢れるスピーチが有り、今回も楽しい例会となりました。誰？これでも時間が足りないと言っているワイズは！！

つくづく ワイズの例会は「楽しさ一番」と思い、「楽しくなければワイズじゃ無い」のクラブモットーを思い知らされました。しかし寂しい一面も。皆、呑まなくなつたな～！！

さあ！鋭気を養った所で、中部部会と75周年記念例会に向けて がんばっぺ～！！

一人はみんなの為に みんなは一人の為に



「ワイズの楽しみ」

西 信之

ワイズの会で私が最も楽しみにしているのは、会員はもとより多くの方の興味深いお話しが聞け、知識を深める事ができることである。講演者のお仕事やボランティア活動・趣味など単なる会話では知ることが出来ない深い知識が得られる。コロナの影響で、私が代表を務める団体も活動会員が3割程度減少し、それを補わねばならないため極めて忙しく、この楽しみが奪われているこの頃であるが、コロナが収束して通常に戻れることを楽しみにしている。

「ワイズ活動を通して」

吉川 與志子

金沢に終のすみかとして施設に住んで、来月で5年になります。だんだんと月日が過ぎると共に、記憶力、体力が弱り、コロナ感染予防の為外出が減り、したがって運動不足が加わって、ますます度が増してきました。

ここ2年半余り、日曜日に教会に出かけて礼拝を捧げ、神の御言葉を聴くことができなくなり、皆様方との交わりもほとんどなくなってしまいました。

しかし、時々会員の方が訪ねて下さったり、いろいろな形で助けて頂き、生きていく土台の「信仰生活」を支えてもらい、有難く感謝しております。

教会では「主の日」の礼拝の様子をライブ配信して下さいますので、タブレットで自室にて牧師先生の説教により御言葉を学び、一緒に讃美歌を歌い「主の日」を守ることが出来まして感謝しております。

現在は自己責任で感染者が少ないので、ワイズメンズクラブの例会にも出席することができ、学びの場であり、種々の喜び、交わり、助け合うことの大切さを身をもって味わう事ができますことを心から感謝しております。

今期から「会計係」を受け持つことになりました。どうぞ良き働きができます様にご指導いただきますように願っております。

「或る夏の日の思い出」

伊藤 仁信

映画の題名ようですが、夏になると特に子どもたちの水遊びのことが新聞やテレビなどで見ると自分の子どもの頃を思い出します。水遊びの時、自分にとっては大事故に感じたので覚えているのですが、鮮明にその場面だけが脳裏に焼き付いており、何十年も前なのに絵に画けと言われてたら画けるくらいです。

当時はクーラーなども無いし、扇風機があるのは裕福な家庭だったので、涼をとるには近くの小川で遊ぶほかなかった。いつもの通り学校からの帰りに家の近くにくると、道端に風呂敷包か手提げ袋（ランドセルなどは無かった）を置いて素っ裸になり、小川に入りひと騒ぎして飽きると恒例の魚取りを始めた。小川の土手は今の様にヒューム管やコンクリートで作られておらず、自然の石を積み重ねてあり、石と石の隙間が魚達の絶好の棲み処になっていたのも、其処へ手を

入れ、所謂手掴みで捕り互いに自慢しあって喜んでいました。自分は魚を探しているうちに頭にゴツンと鈍い音を感じたが痛くもないし、喜んで岸に上がっていったら友達が「頭から血が出ている」と騒ぎ出したので、手を当ててみると手のひらに血がついてきたので、それを見た瞬間痛みを感じ吃驚した。直ぐに下着で頭を押さえ、片方の手で鞆をひきずりながら家に帰った。おふくろは、吃驚しすぐ応急手当をしてくれましたが、その間叱られっぱなしでした。口ではいろいろ言われましたが、おふくろの目が大変優しく涙ぐんでいたようにさえ見えませんでした。夏の暑い日が続くと今でも鮮明にその時のおふくろの顔が浮かんできます。多分自分が死んでも忘れないし、天国でおふくろに会った時にまた言われるのではないかとと思っている今日この頃の暑さです。

「おむつ会」の思い出

数澤 輝夫

小立野の旧工学部跡地に建設中だった石川県立図書館が完成し、この程開館しました。家内が物珍しさに誘われてちょっとみてこようと一人で出かけ、利用者カードを作り、セルフ貸し出し機で5冊の本を借りてきました。その中に「賀川豊彦」の著書「小説キリスト」（復刻版）があったのです。手に取ってみるうちに、賀川先生と出会った青年時代の懐かしい思い出がよみがえったのです。

それは1956年（昭和31年）10月13～14日、北陸学院栄光館に於いて石川地区諸教会連合主催で賀川豊彦先生をお招きして伝道集會が開催されました。先生のお話は非常に平易な言葉で主の救いを語られました。その例えに「おむつ」と言う言葉を用いて主キリストが私たちの人間の罪の後始末を、身を低くして拭い去って下さったと言うお話しで「オムツ」「オムツ」「オムツ」と何度も模造紙に墨汁筆で書かれたものです。

その説教に感動した金沢長町教会青年会の姉妹が、青年会で聖書を読もうと提案され、会の名称を「おむつ会」とし、毎週月曜日午後7時から祈祷室で「ロマ書」を読み合いました。会長の北村（現数澤）を始め大久保兄、安立兄、駿河兄、本田兄、岩田兄、服部姉、増本姉、梶山姉、東野姉、その他、幼稚園の教師の方々など常時6～7名が出席していました。ロマ書9章まで読み進んだ時、福音の真理の豊かさを憶えて異邦人の私たちにまで救いの及んだ事に感謝し、心に燃える

ものがあつた事を今でも鮮やかに思い出します。変わった名称の会でしたが、若き日に信仰を培われ、湖南学園の受刑少年への伝道、CSの教師として奉仕に情熱を込めて、走り回った日々を今も懐かしく思い出します。

国際大会の思い出

山内ミハル

もうずいぶん前のことになりますが、デンマークでワイズメンズクラブ国際大会が開かれたとき、夫と二人で参加した時のことです。開会式会場の体育館前方中央に、素敵な椅子が1脚置かれていました。デンマーク女王様のお席でした。

会議は全て英語で、日本語の同時通訳がありました。ワイズメンズクラブに入会したばかりの我々にはわからないことも多かったので、分科会などのプログラムは抜けて、デンマークの街を散策しました。

最後の夜には国際会長主催の舞踏会が開かれました。婦人たちはイブニングドレスの方が多く、日本から参加された方の中には、素敵な和服の方もいました。私はちょっとおしゃれなワンピースしか持って行かなかったのですが、夫が「知った人は誰もいないのだから、それでいいよ。ダンスも出来んけど、とにかく踊ろう」というので、初めて社交ダンスの体制をとって、くるくると回っていました。

デンマークの4日間は、北欧への旅を含めて、今も忘れることのできない思い出です。

当時の日本と大きく違う事も忘れられません。

- ① ワイズメンの大会に女王様が臨席なさった事（日本では天皇の御臨席は望めない）
- ② バスに車掌はいない。料金は自分が乗った距離を考え、各自料金を払う。（誤魔化そうと思えばいくらでもごまかせる、というよりは払えない人は払わなくてもよい。それを認める国民性か）
- ③ 夕食の時、テーブル上にいろいろな飲み物のビンが何本も置かれていた。夫がその中のビールの栓を抜き、前や横に座っていた方々に、「Please！」と差し出すが、だれも受け取ろうとしないのです。その中の老紳士が一人、自分のコップを差し出したので、彼のコップにビールを注ぎ、夫は軽くコップを挙げて、乾杯のしぐさをして飲み始めた。先ほどの老紳士がお金を出そうとしたので、夫が「No, No」と断っていた。後で分かったのですが、飲みたい人が飲んで、料金は自分で払う。人に無理強い？しないのがエチケットか....。

全員で成功させましょう

幸正 一誠

金沢クラブは今期、75周年を迎えます。又、山内ワイズが中部部長に選出され、中部部会が金沢で催しされます。周年記念例会と部会の開催準備を山内ワイズが中心となり、数沢ワイズ・メネット、伊藤ワイズ・メネット各位に担って頂いています。感謝です。

8名しかいない小さなクラブです。これから、メンバー各位に仕事が割り振られると思います。ご協力をお願いします。周年記念例会・部会には中部のワイズメンを始め西日本区のワイズメンの方々が多く参加されます。この交流こそが「ワイズメンズクラブの楽しさ」であり「醍醐味」です。当クラブの中には初参加のメンバーも居られます。準備をお手伝い頂き来る日を楽しみに迎えて下さい。多くの見知らぬワイズメンと握手を交わし、交流を楽しみましょう。多くの人（ワイズメン）と出会う事・知る事は人生の財産となります。

周年記念例会・部会を全員で成功させましょう

【7月第二例会報告】

日時：7月1日（金） 17：30～19：30

場所：金沢ニューグランドホテル 蔵

参加者：伊藤仁信、数澤輝夫、幸正一誠、山内ミハル
伊藤悦子、数澤淑子

- ① キックオフ例会について
卓話：会長方針について
会長交代式
部長任命状交付
納涼例会とする
- ② クラブ創立75周年記念例会について
準備の確認

📞📧📱📷📹📺

数澤 輝夫君

8月20日

9月の担当

聖 句 西 信之君
ブリテン 数澤 輝夫君